



聴覚に障害のある子どもへの指導・支援

ロジャーマイクを使用することはあります。効果的な活用の仕方について。

デジタルワイヤレス補聴援助システム(ロジャーマイク)とは、
『補聴器本体だけではきき取りの改善が難しい、騒がしい場面や、
話し手と聞き手の距離が離れる場面で、話し手の声を
ワイヤレスマイクから無線で受信機に届けることで
きき取りを改善させるシステムです。』(フォナック HP より)



タッチスクリーン



ロジャーオン



ロジャーセレクト

ここでは、フォナック社のものを取り上げましたが、これら以外にも、デジタルワイヤレス補聴援助システムがあります。(取り扱いについては各社の説明書をご覧ください。)

ロジャーマイクシリーズには機種により多少違いはありますが、様々なマイクモードがあります。

★水平なテーブル等の上に置くことで自動的に「卓上（グループ）モード」に切り替わります。騒音下での音声と騒音のバランスを瞬時に解析して、最適な指向性パターンを形成します。グループでの会話など、卓上に置くことで騒がしい環境での会話に役立ちます。



【卓上（グループ）モード】
マイクロホンが
検出する方向を自動調整し、
いざばんだきな声を拾います。



★襟や胸元に装着または首掛けスタイル使用することで「プレゼンターモード」に切り替わります。「プレゼンターモード」では、話し手の口元に向かって指向性が働くため、周囲の雑音の影響を受けにくく、話し手の声がより聞き取りやすくなります。特定の話し手が決まっている場面（授業中、教師が使用）で有効です。

